

アメリカではエリートのは必須資格。

女性にとってもMBAは最強の資格ですか？

アメリカでは、エリートコースを歩む人には必須の資格ともいえるMBA。さて日本の働く女性にとっても、この資格の持つ意味とは？
取材・文●石川れい子

社会経験はMBAの価値を左右する。この自己投資は、地位向上に本当に有効か？

MBAとはMaster of Business Administrationの略、経営学修士のこと。アメリカでは60年代からスーパーエリートの象徴とされてきた。「外資系企業から1000万円超のオファーを受けたこともある」と証言するのは、20代の終わりにMBAを取得した平田麻美さん（仮名・33歳）。MBA取得者なら女性でも、30歳で年俸1000万円が現実となり得るのだ。



©Index/AFLO



©Index/AFLO

MBAコースのほとんどが大学付属のビジネススクールや大学院に設置されている。学生は社会人経験を持つ20代後半から30代が中心だ。プログラムは理論よりケーススタディに重点が置かれ、活発に意見を戦わせながらマネジメントのスキルを磨いていく。「有効な討論をするためには少なくとも3年から5年はビジネス経験がほしい」と、早稲田大学ビジネススクール（大学院アジア太平洋研究科国際経営学専攻WBS）の木村達也助教授は言う。

特別視してかえって使いあぐねているところも多い。日本で働く女性にとってMBAは無用の長物なのか。木村助教授は「グローバルな企業の中にはアジア地域の女性管理職比率を上げたがっている会社もあり、日本人女性のMBAホルダーがいればぜひという会社も多いだろう」と見る。

理由はいくつか考えられる。まず女性には企業派遣の機会が少ない。自費で賄うなら、1〜2年間仕事をやめる覚悟と、その間に必要な資金をためなければならぬ。文科科学省が専門職大学院を認可にしたことでここ数年、日本にもMBA相当のコースが急増し、中には仕事をしながら通えるところもできた。だが、これまでは海外で取得するしかほとんど道がなかった。留学するならば学費と生活費で2000万円近く、国内で取るにしても、200〜500万円は必要だ。果たして投資を回収することができると不安になるのは当然だろう。また、並み居る男子学生に伍して討論できるほどの経験を自分が積んでいるだろうか、経営学に必要な統計や会計は苦手だ、英語力にも不安がある……。考えれば考えるほど夢を阻む要素は尽きないように思えてくる。



©Index/AFLO

日本の主要企業が評価する日本のビジネススクールベスト10

順位	学校名	評価した企業数
1	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科	45
2	一橋大学大学院 国際企業戦略研究科	31
3	グロービス・マネジメント・スクール	27
4	一橋大学大学院 商学研究科	18
5	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科	17
6	神戸大学大学院 経営学研究科	15
7	国際大学大学院 国際経営学研究科	9
8	同志社大学大学院 ビジネス研究科	5
9	多摩大学大学院 経営情報学研究科	3
	早稲田大学大学院 商学研究科	3

日経産業新聞調べ
2004年7月7日付、「ビジネススクール調査」より。国内主要企業230社を対象に調査を実施、85社から回答を得たもの。1企業につき最大3校まで評価した。

渡邊社長によれば海外MBAで培われる資産は5つある。①知識とスキル、②留学生生活で得る見識、③MBA独自の共有概念、価値観などキャリアへの考え方、④人とのネットワーク、⑤生涯を通じた職業機会、である。特に米経済誌などで発表されるMBAランキングの上位10校を修了すれば、生涯スカウティングの対象であり続けるだろうとも言っている。だが、国内で取っても、ビジネスに実際に使える英語力があれば、男女関係なく異業種、異職種間の転職は可能だ。ただし「値段が付いているのはMBAではなく、ポジションなのだ」ということを忘れてはいけない。「まずはエントリー前に自分をきち

んと分析すること」とは、GEマネージャー/コンシューマー・ファイナンス人事・総務部の潮崎友紀子組織開発・採用ディレクター。同社は多様性を推進し、女性MBAホルダーも活躍できるような環境を整えてきた。結婚や出産など、女性のライフコースにつきもののリスクを十分に承知している潮崎さんは、「意識的な選択をすることで、修学中の2年間の充実度が違ってくる」と言う。そして「これだけ広い視野を持つ人へと成長するかが鍵。本質的な価値をつかみ取る気概でチャレンジしてほしい」とエールを送る。

投資に見合うリターンを得られるかどうかは、あなた次第なのだ。

2005年グローバルMBAランキング

順位	学校名	国名都市名	女子学生の比率 (%)	平均年俸 (US\$)
1	ハーバード・ビジネススクール	アメリカ (ボストン)	34%	\$162,107
	ペンシルベニア大学: ウォートン	アメリカ (フィラデルフィア)	33%	\$148,955
3	コロンビア・ビジネススクール	アメリカ (ニューヨーク)	33%	\$148,527
4	スタンフォード大学: GSB	アメリカ (カルフォルニア)	35%	\$157,322
5	ロンドン・ビジネススクール	イギリス (ロンドン)	23%	\$126,590
6	シカゴ大学: GSB	アメリカ (シカゴ)	26%	\$148,742
7	ダートマス大学: タック	アメリカ (ハノーバー)	25%	\$154,009
8	インシアード	フランス、シンガポール (パリ、シンガポール)	19%	\$126,620
9	ニューヨーク大学: スターン	アメリカ (ニューヨーク)	33%	\$126,090
	イェール・スクールオブマネジメント	アメリカ (ニューヘイブン)	34%	\$130,801

KPMG調べ <http://rankings.ft.com/rankings/emba/rankings.html>
米経済紙「フィナンシャル・タイムズ」が2005年1月に発表した「グローバルMBAランキング」の抜粋。平均年俸は卒業後3年目の年俸。

キャリアメイク成功例

MBA取得前の職業 (年収)	MBA取得年齢	MBA取得後の職業 (年収)
22〜26歳 日系鉄工メーカー (550万円弱)	28歳	30歳〜 外資系食品メーカー (720〜840万円)
22〜23歳 日系証券会社 (280〜300万円) 23〜27歳 外資系サービス (320〜450万円)	29歳	30歳〜 外資系医薬品メーカー (600万円以上)
22〜28歳 外資系証券会社財務会計 (450〜1200万円)	30歳	30〜33歳 無職 33歳 外資系投資銀行 (1800万円以上)

株式会社アクシアム調べ
アクシアムを通じて転職したMBAホルダーの実例。
新展地 (<http://www.shintench.com/>)